



IT超硬ドリル  
ITダイヤストレートボディ/ITドリルボディ  
ITドリルカッター

# ITバインド工法

## 取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
ご使用前に取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。  
お読みになった後は大切に保管し、必要なときに読み返してください。

### 安全上のご注意 必ずお守りください

けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。

- 警告** 誤った取り扱いをしたときに、使用者または第三者が死亡や重傷を負うおそれがある内容
- 注意** 誤った取り扱いをしたときに、使用者または第三者が軽症を負う危険や物的損害の発生するおそれがある内容

### 警告

- 作業場は、いつもきれいに保ってください。作業場の周囲状況も考慮してください。雨中や暗所では使用しないでください。また、高所作業での落下防止などの安全措置を行ってください。
- 無理な姿勢で作業しないでください。常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。高所作業時には安全帯着用等の安全衛生規則に則った作業をしてください。
- 作業時の服装には十分注意し、袖やズボンのすそ等が巻き込まれないようにしてください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用し、騒音の大きい作業では耳栓・イヤーマフなどの防音保護具を着用してください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。また、改造や分解などは絶対にしないでください。
- 作業中は振り回されないように電動工具を両手で確実に保持してください。
- 高所作業では切削片の飛び出し、落下の危険がありますので、十分注意してください。
- 回り止め棒を電動工具のサイドハンドルに押しつけた状態で電動工具の回転を始めてください。電動工具始動時は回り止め棒が急に回り出し、指詰め等の危険性があります。
- 回り止め棒が止まらない電動工具ではご使用になれません。
- 穴あけ直後のカッターや切削片は熱くなっていますので、火傷をしないよう保護手袋等を着用してください。ただし、カッター回転中は巻き込まれる危険がありますので、保護手袋は着用しないでください。
- カッター及びドリルの着脱時は、保護手袋を着用し、けがや火傷をしないように注意してください。
- 製品の着脱時は、電動工具の電源を必ずコンセントから抜いて作業を行ってください。
- ご使用になる電動工具の「取扱説明書」をよく理解された上で、ご使用ください。

### 注意

- 電気ドリルは回転モード以外で使用しないでください。ハンマー・振動モードでの使用はカッターの破損原因になります。
- 穴あけ終了後は電動工具を回転させたまま、引き抜いてください。ただし、5ミリ程度の穴深さであればカッターの回転を止めてから、引き抜いても問題ありません。
- 深穴穿孔においては有効長の範囲であってもベックモーション等を行い切粉を排出させてください。特に横穴や下向きの穿孔時では、時々行ってください。
- 被削材の状態によっては穿孔時間にバラツキが出ます。
- 鉄筋には穿孔出来ません。穿孔位置を変える等の処置をとってください。
- シャンクのスリーブとシャンク本体部分の隙間からグリスが出る事があります。異常ではありません。グリスは流れ出た分を、スリーブのグリスニップルより補給してください。必要以上にグリスを入れると発熱・飛散の原因になります。

#### <ITダイヤストレートボディ、ITドリルボディ使用にあたっての注意事項>

- 必ずカッターの刃先径に合ったボディをご使用ください。
- 穴あけの際は1穴毎に切削片、切粉を取り除いてから作業を始めてください。ボディの横穴から出ずに残っている場合がありますので、ご注意ください。切粉押し出し棒(品番:ITPE110 φ12以上で使用可能)を別売しています。
- 弊社「ミストダイヤモンドドリル」シリーズのカッターおよびボディとの共用は出来ません。

## 本製品について

### ● ITバインド工法 組み合わせ一覧

#### IT超硬ドリル

刃先径3.4、4.0、4.3、4.5、5.0 (全長120、有効50)

刃先径6.0、6.5 (全長130、有効65)

刃先径8.0、8.5 (全長140、有効75)

刃先径9.0、10.5 (全長150、有効90)

#### ITドリルカッター

刃先径8.5 IT085C

刃先径9.0 IT090C

刃先径10.0 IT100C

刃先径10.5 IT105C

刃先径11.0 IT110C

刃先径12.0 IT120C

刃先径12.5 IT125C

刃先径14.5 IT145C

刃先径16.0 IT160C

刃先径16.5 IT165C

刃先径18.0 IT180C

#### ITダイヤストレートボディ

有効60

有効60

有効100

有効100

有効100

有効100

有効100

有効100

有効100

#### ITドリルカッター

刃先径19.0 IT190C

刃先径20.0 IT200C

刃先径22.0 IT220C

刃先径23.0 IT230C

刃先径24.0 IT240C

#### ITドリルボディ

有効130

有効130

有効200

有効200

有効200

有効200

IT (+) シャンク No.2 (ITPSK2)

ITドリルチャック

グリスニップル

スリーブ

回り止め棒

ITドリルチャック



※ITDC  
IT (+) シャンク (ITPSK2) をお持ちの方は、ご購入いただく、IT (+) シャンクになります。



※ITドリルボディの場合は、ITドリルチャックを外して、ご使用ください。

#### <適正電動工具の条件>

IT超硬ドリル		
刃先径(mm)	回転速度(min <sup>-1</sup> )	推奨電動工具
3.5~10.5	1000程度	HiKOKI DV20VF (低速) 等

ITダイヤストレートボディ、ITドリルボディ			
刃先径(mm)	回転速度(min <sup>-1</sup> )	消費電力(W)	推奨電動工具
5.0~10.5	5000~3000	250W以上	HiKOKI DV20VF
11.0~24.0		500W以上	(高速) 等

注意：上表は弊社標準条件においての目安です。穴あけ対象物の材質や固定方法などにより異なります。



ユーザーと共に歩む

株式会社 **ミヤナガ**

受注センター

受付窓口 ☎0120-81-3875

〒673-0443 兵庫県三木市別所町巴19番地

商品お問い合わせ窓口 ☎0120-3875-14

URL <http://www.miyana.co.jp>

F A X ☎0120-3875-17

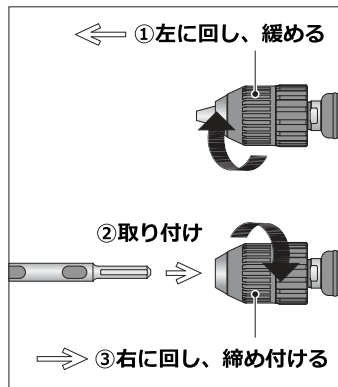
## 使用方法について

### ● 組立て方法

**1** 電動工具にIT(+)**シャック**を取り付け、回り止め棒が電動工具のサイドハンドルに当たる事を確認してください。サイドハンドルの無い電動工具では、回り止め棒を結束バンドで固定する等の工夫を必ず行ってください。

**2** ITドリルチャックの上部を①左に回して緩め、②使用する刃先を取り付けてください。③上部を右に回して強く締め付けてください。チャックを最後まで、確実に締め付けると緩み止め機能が働きます。作業中、緩んだ場合は増し締めしてください。

**3** <ITダイヤストレートボディ、ITドリルボディ使用時> カッターをボディにねじ込んでください。



※IT(+)**シャック**は、スリーブ部分にパルス発生機構を備えた**シャック**です。穿孔時に、スリーブが回転しないよう回り止め棒で固定しないと、効力が発揮できません。

### ● 位置決め方法 ※ITダイヤストレートボディ、ITドリルボディ使用時

電動工具のスイッチを入れる前に、回り止め棒が電動工具のサイドハンドル等に当たって回転しない事を確認してから作業してください。

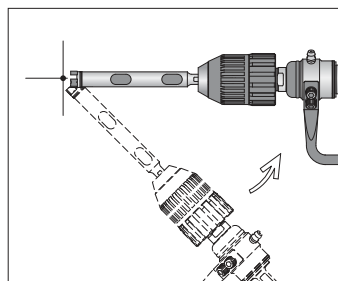
#### <A. オプション品を使用しない方法>

**1** 電動工具を大きく傾け、穿孔位置の近くでカッターを被削材に当てずに回転を始めてください。

**2** 刃先を軽く被削材に当ててください。2~3mm切り込んだら、電動工具を徐々に被削面に対し垂直にしてください。

**3** 電動工具の回転が落ちないように穿孔を続けてください。

**4** 穴あけ完了後は電動工具を回転させたまま引き抜いてください。

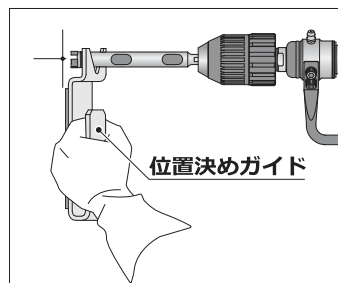


#### <B. (別売)位置決めガイド(品番:PG)を使用する方法>

**1** 位置決めガイドを持ち、穴あけ位置に当ててください。

**2** 位置決めガイドのV部分に刃先を当て、ずれないように、位置決めガイドを強く押さえてください。カッターをV部分に押しつけてから、電動工具の回転を始めてください。5mm程度切り込んだら、電動工具の回転を止め、カッターを被削材から外してください。

**3** 位置決めガイドを退け、カッターを位置決めした穴に合わせ、穴あけを続けてください。



#### <C. (別売)ダイヤカッター用位置決めプレート(品番:PP)を使用する方法>

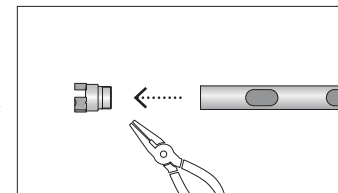
ダイヤカッター用位置決めプレートもご使用いただけます。詳しくは商品の取扱説明書をご覧ください。

### ● メンテナンス

○作業終了後は、**シャック**に付いたゴミ・ホコリを取り除いてください。**シャック**内部に入ると故障・破損の原因になります。

○**シャック**のスリーブと**シャック**本体部分の隙間からグリスが出ることがありますが、異常ではありません。

○ITダイヤストレートボディ、ITドリルボディはカッター交換が可能です。カッターのダイヤモンドチップがなくなる前に、カッターを新しい物と交換してください。台座がなくなるまで穴あけを行いますと、ボディ等他の部品の破損につながります。交換は、ボディ部にプライヤーを掛け固定し、カッター台金部分をプライヤーやペンチ等で回して外してください。



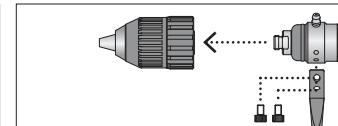
## オプション品について

### ● 集塵カバー100(品番:PCSJC100)、ITドリルカバーアダプター(品番:ITBCADP)

ホコリを出せない屋内作業に使用の場合、集塵カバー100とITドリルカバーアダプターをご使用ください。

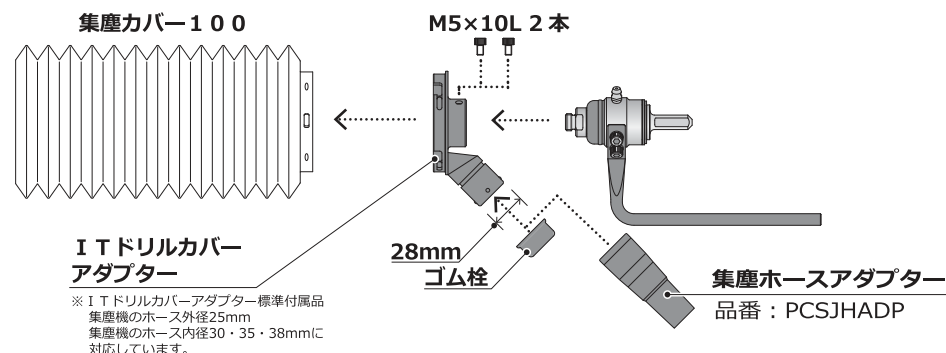
#### <組立て方法>

**1** IT(+)**シャック**No.2からITドリルチャックと、回り止め棒を外してください。



**2** ITドリルカバーアダプターをIT**シャック**に挿入して、回り止め棒と一緒にITドリルカバーアダプター付属のボルトM5×10Lで固定してください。必ず付属のボルトを使用してください。※回り止め棒を固定してあったボルトでは、ITドリルカバーアダプターと回り止め棒と一緒に固定する事は出来ません。

ITドリルカバーアダプターはドリルチャックを一度外してから装着します。



**3** 集塵カバー100をITドリルカバーアダプターに取り付けてください。集塵カバー100が長い場合はハサミ等を使用して、刃先が隠れる長さで切断してご使用ください。

- ・集塵機を使用される場合は、ITドリルカバーアダプターの吸い込み口のゴム栓を外し、集塵機のホースを取り付けてください。吸い込み口は28mmです。
- ・吸い込み口とクリーナー径が合わない場合は、付属の集塵ホースアダプターを吸い込み口に取り付けて、ご使用ください。ホースによってはアダプター側を切断する必要があります。集塵機を使用されない場合は、ゴム栓を取り外さず、ご使用ください。

### ● ドレッシングプレート(品番:DDP)

穴あけ中、カッターのダイヤモンドチップのバランスが崩れたり、急に切れ味が落ちた場合、または何らかの要因でダイヤモンドチップが変色する等、異常が生じた場合は、通常の穴あけ手順(乾式で良い)でブロックやGC砥石、またはダイヤドレッシングプレートに数回穴あけし、目立てを行ってください。